

# わが市わが町 「葉山町」



～ 緑地(里山)保全を後世へ ～

葉山町は、砂浜と岩礁が交互に織り成す美しい海岸に臨み、多摩三浦丘陵から連なる豊かな緑に抱かれ、風光明媚な避暑避寒の地として、また、「御用邸のあるまち」として広く知られています。春の桜やツツジ梅雨の頃のアジサイ、盛夏の濃緑、秋の紅葉や森戸の夕照、冬の相模湾越しに望む富士など四季折々の美しい自然の姿は、日々の暮らしに潤いと安らぎを与えてくれます。

本町全体の緑被総量は約 1,266ha で、緑被率約 74%となっており、そのうち市街化区域の緑被総量は約 65ha、緑被率約 13%、市街化調整区域の緑被総量は約 1,201ha、緑被率約 99%となっています。

当町では旗立山など葉山を代表する緑や、民間開発によって確保され町へ移管された開発緑地等を、緑地として維持管理しています。町有緑地を保全していく上で、草刈りや枝払い等、町民や NPO 等の協力を得ながら維持管理に努めています。

平成19年に緑地(里山)整備事業として旺盛な繁殖力で緑地にはびこる葛・蔦の除去及び竹林の伐採等を

実施し、以来、樹林地を活性化させ美しい自然環境を守っています。



これを更に次世代に継承していくためイトーピア緑地及び湘南国際村緑地を作業の実施場所とし、伐採等の作業や作業手順及び技能の習得を目指しつつ緑地整備を実施しています。

今後も、地域の特性を利活用しながら、町民ボランティア団体等の協力を得て樹林地の必要な整備箇所や適正な整備方法を構築、検討し、緑地整備を引続き推進していきます。

除々にではありますが、採光のための間伐等で竹林にとって更に良い環境が作り出されて来たと感じています。



本年度この竹林整備の成果を生かし、将来の担い手となる葉山のこども達の環境教育の場として、町内在住、在学の小学校4年生から6年生を対象とした里山管理体験事業を計画しました。残念ながら雨天の為、中止となりましたが、今後も同企画を実施するなど豊かな生態系を育み人々に安らぎと潤いを与える貴重な自然環境の保全に努めていきます。



(葉山町  
生活環境部 環境課  
自然環境係)

